

なかつか 亮

都営住宅をなくさないで

4棟112戸「廃止」計画は中止を 住宅確保こそ自治体の役割



突然の取り壊し

東京都は西大井6丁目
の「第2大井伊藤町」と東大井4丁目の「大井林町」の都営住宅（計4棟112戸）の取り壊しを決定し、更地にすると発表。「突然、出て行けなんて：この品川に住み続けたいが何とかしてほしい」などの相談が、区議団控室に相次いでいます。しかし、都は居住者に6ヵ月後の11月までには、新宿区か、港区の都営住宅に転居するよう要求。月末にも引越しなどの説明会を行

「ここで暮らすようになり20年以上になります。突然、慣れ親しんだ品川から出て行けなんて、石原さん（都知事）はいったい何を考えているのでしょうか：」前号のニュースをご覧になった方から、こんな電話がありました。都営住宅の増設こそ急がれているのに、4棟「廃止」など、とんでもありません。「都営住宅増設を」の声をあげましょう。

なうなど、強引に進めようとしています。

この品川で暮らしたい

都営住宅で暮らす70代女性の方は「ずっと暮らしていけるものだと思います。まさか、出て行けと言われるなんて今でも信じられません。70歳を過ぎ、いまさら他の区で暮らせと言われても困ります」と語ります。

住宅確保こそ急務

これまで、共産党の「都営住宅増設を」の提案に、都は「住宅はもう十分作った」などと増設を拒否してききました。今回は、さらに、都営住宅を取り壊すなどとは、私も怒りでいっぱいです。区内の応募倍率は、東品川都営の382倍を始め、平均約55倍。何年待っても入れないのが現状なのに、どうして取り壊すのでしょうか。住宅確保こそ自治体の大切な役割です。党区議団は計画中止を求め「緊急区長要請」を準備しています。ご一緒に「都営住宅増設を」の声を上げましょう。なかつか亮

6月中旬にも工事強行・伐採の動き

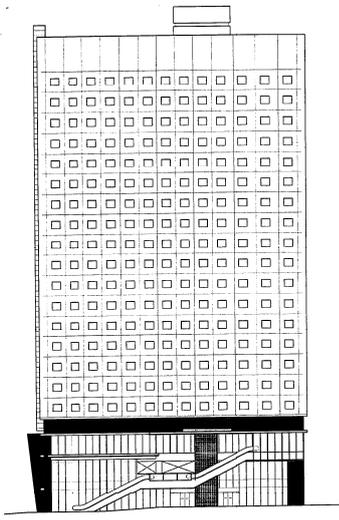
樹齢百年越す

「桜」

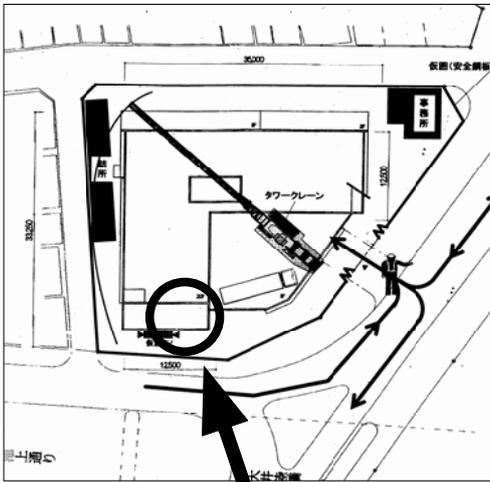
保存を

地上20階ホテル建設

大井4丁目、三つ又時計台前の「かんべ土地」（現在は駐車場）に、地上20階ホテルが建設され、樹齢百年とも言われる、桜の木が伐採の危機にさらされている事をご存知でしょうか。近隣住民の方は「あの戦争の惨禍をくぐり抜け、苦しい時も楽しい時も、大井の町を見守ってきた、あの桜をなんとか残してほしい」と切実に語ります。



正面から見た建設予定のホテル。高さは79メートルです。



○が現在、桜がある所。図で見る限り、ホテル客室付近と思われます。



しかし、業者は「老木のため移植が難しい。新しい桜を植えるので理解してほしい」とし、「建築確認審査がおりしだい、現状の計画では、6月中旬に桜を伐採します」と説明します。

私は、品川区に「何とか桜を残してほしい」と陳情。区は「何人かの方からも、同様の話を伺っています。区としても何とか残せないものなのか検討している」と話します。

私は、新しい桜を植えればそれで「よし」とは思えません。町には、町の顔があり、あの桜は町のシンボルです。一緒に

「桜、存続を」
の声をあげましょう。
なかつか亮

今月の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

5月25日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231
生活相談は随時行なっています。福祉や住宅、医療・介護などご相談がありましたら、まずはお気軽にお電話ください。お待ちしております。